

協会の事業

（一社）日本ピアノ調律師協会では毎年全国11支部で様々な事業を行っています。今号ではその中から昨年度より始まりました「高校生のハローワーク」を北陸支部より、「調律の日記念事業」を九州支部より紹介します。

「高校生のハローワーク」授業紹介

北陸支部 中島 武士

令和3年度から新しく「高校生のハローワーク」と題した職業体験授業がスタートして、北陸でも令和4年1月に福井県立丹南高校、同年2月に富山県立砺波工業高校で行いました。ここでは私が講師をした富山県立砺波工業高校でのハローワークについてご紹介いたします。

この北陸支部での事業を進めていくにあたり、先ずは何処の高校で実施するのか

問題となりました。ピアノレスナーさんや学校教員経験者に相談しました。その話ではいわゆる進学校と呼ばれる様な高校は難しいかもしれません、と言われてしまいました。分からないわけでもありませんが困ったなあと思っていたある日、ふと思いつきました。自分のお客様の中に高校の音楽教師がいらっしゃるじゃないか！

ちょうど調律時期も近づいて来ていましたので早速連絡し、調律完了後のお話の

中で「高校生のハローワーク」の話をさせていただきました。もちろんこれ迄の「12歳のハローワーク」の資料持参です。最初から感触の良い反応を頂き、高校の音楽の授業は割と自由度が高いこともあり、是非やってみたいので学校に持ち帰り、体験授業の可否、時期などを会議の議題にあげたいと言ってもらえました。数ヶ月経ち忘れかけていた頃に先生から打診がありました。県立高校2校の音楽授業を受け持つておら



ピアノの内部構造に興味津々

れる中、今回は富山県立砺波工業高校で行うことが決まりましたと嬉しいお話を頂きました。コロナ感染者状況の懸念もありましたが、メールのやり取りをしながら時間や内容を相談して授業計画を進めていきました。



ピアノ調律を体験

今回の授業は一年生の生徒さんたちで機械科男子26名を三時間目と四時間目で。電気科と電子科の男子26名と女子1名を五時間目と六時間目で行うと決まりました。先生からもこちらが授業を進めやすくなる様に色々な情報を送っていただきました。機

械科は元気でノリの良い生徒たち。電気科と電子科生徒は大人しくてリアクションは全くないが、実は結構話を聞いているシャイな人たち。このような情報は生徒の皆さんに初めて会う私にとって授業を進める上で大変参考になりました。

さて体験授業の方ですが、前日に学校へのご挨拶とピアノ調律。9日授業当日は私と北陸支部会員のサポート3名で授業を進めていきました。プロジェクターでスクリーンに映し出された画像や資料でピアノ発明からの歴史や当時のヨーロッパの市民の生活の様子を見てもらった後、いよいよピアノのパネルとアクション、鍵盤を取り外して近くで見えて実際に手で触ってもらいました。さすが工業高校の生徒さん、説明しながら分解していくとピアノの内部構造に興味津々という感じを受けました。

組み立て後にはピアノ調律を体験。先生の希望で全ての生徒に体験してもらいたいということになり、短時間になってしま



高道智子先生の演奏

ましたが全員に中音のユニゾン合わせを体験してもらいました。すんなり合わせられる生徒さんもいて驚くことも。ピアニストの高道智子先生にはクラシック以外に生徒さん達がよく耳にするJ-POPの曲も用意していただき、小物楽器を使って生徒さ

ん達を巻き込んだ演奏をしてもらいました。高校生対象のハローワークは初めての経験で授業を進めていくのは内心ドキドキ状態でしたが、音楽担当の先生からも好評を頂きました。私自身は高校生の時のある人の影響でこの道に進んだのですが、この職業体験授業を受けた生徒の皆さんの心

の中に小さい何かを残すことができたなら嬉しい限りです。
当日は新聞社の記者とビデオクルーの取材を受け、翌日の新聞記事と同新聞社のネット版では授業の様子をまとめたビデオ映像を見ることができました。

日本ピアノ調律師協会は、
わが国の音楽文化の発展に寄与することを
目的として、さまざまな事業を行っています。



- 1 ピアノ調律師職種国家検定の指定試験機関として厚生労働省より指定され、試験の実施に当たっています。
- 2 4月4日の「ピアノ調律師の日」をPRする記念行事として、全国の支部では地元出身の若い音楽家たちによる演奏会を積極的に企画し、次代を担う若手を応援しています。「12歳のハローワーク」と題して、小学校の総合学習の
- 3 時間にピアノ調律師の仕事やピアノの良さを紹介する授業を行っています。
- 4 歴史的なピアノの調査研究と修復活動を行っています。
- 5 新人向けの基礎研修や、ベテランの更なるレベルアップを目指す研修など、さまざまな研修を行っています。
- 6 国際活動を通じた技術交流を行っています。

「4月4日はピアノ調律の日」記念事業

九州支部 吉富 智

第16回九州新人演奏会 ～出演大学推薦の令和3年度ピアノ科卒業生による独奏～

日時：2022年4月2日(土) 16:30 開演
会場：福岡市健康づくりサポートセンター
あいれふホール

出演者

・石本 茉綾(活水女子大学)
・大野 柚依(福岡女子短期大学)

・楠田 莞晴(大分県立芸術文化短期大学)
・館 茉莉花(平成音楽大学)
・田中 亜美(鹿児島国際大学)
・新保 和典(福岡教育大学)
・吉本 美優(沖縄県立芸術大学)

新人演奏会チラシ

九州支部では毎年4月に、九州の音楽大学・音楽学部を持つ大学を知ってもらうため、若き音楽家に演奏場所や演奏機会を提供するために「九州新人演奏会」を開催しています。

2年前の第14回新人演奏会は緊急事態宣言が出て中止となり、昨年の第15回はコロナ禍で様々

な制約のある中、感染対策を行いながら開催しました。今年も新型コロナウイルスが猛威を振るう中ではありましたが、4月2日(土)あいれふホールにて無事に開催いたしました。

コロナ禍以前は、韓国からの学生の参加もあり、九州と韓国の学生の交流もこの演奏会の魅力のひとつだったのですが、今回は九州・沖縄の各大学から代表として推薦された7名の演奏家を迎えて、演奏会が行われました。活水女子大学の石本茉綾さんのリスト作曲「スペイン狂詩曲」の演奏で幕が上がりました。卒業したばかりの若き演奏家たちのショパンやブラームス、ドビュッシーなどの演奏は、あつという間の時

間でした。どの出演者からも、リハーサルでは出身大学の代表者としての自覚とプレッシャーを感じ取ることができましたが、演奏が終わった後の拍手の中での笑顔はとても印象的でした。

コロナ禍ではありましたが昨年とは異なり、今年は出演者同士の演奏を会場で聴くことができ、会場客席の制限もなく多くのお客様にご来場いただきました。たくさんのお拍手を贈ることができたことは主催者の私たちも、そして出演者にとっても嬉しい日常の演奏会であつたと思います。また出演者全員での集合写真も撮ることができ、良い記念になったと思います。

若き演奏家の力強い演奏に毎回感動するのは、言うまでもありません。私たちは、過去に出演された皆さまの名前が載っている演奏会のポスターやチラシを見ると、とても嬉しく思います。今回出演された皆さまも、今後ご活躍していくことを期待してい

ます。そして、またいつの日かピアニストと調律師という関係で、お仕事を一緒にできることを楽しみにしています。

大変魅力あふれる演奏会でしたので、もっと多くの皆さまにこのフレッシュな演奏を聴いて、ピアニストの原石を見つけていただけたらと思います。これからも出演者の皆さまや出身大学の期待に応えられるよう、九州支部会員一同、さらに努力して参りたいと思います。来年の演奏会が、いまから楽しみです。



出演者の皆様